

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	2	新井田 昭 男	
<p>1. 木古内町幸連5遺跡を生かした観光振興策について</p> <p>去る11月29日、木古内町幸連5遺跡の発掘調査で土出した、縄文時代中期後半（約4,300年前）の石製品は全国初の発見であり、道や東北3県が目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録の追い風になるということがテレビや新聞紙上で報道されました。我が町の観光振興には千載一遇のチャンスであると考えます。今後、有識者による様々な観点から研究がなされ、さらなる確信に向けた説明がされると思いますが、現時点での道南縄文文化推進協議会の見解は、「来年度文化庁に提出する推薦書に石製品を含められるかどうか検討ができれば」とのコメントが出ています。今回の石製品の発見は、我が町としても世界文化遺産登録を目指す縄文遺跡群の可能性を大いに期待できる出来事であり、今後の木古内町幸連5遺跡を生かした我が町の観光振興策として次の2点について教育長の見解を伺います。</p> <p>(1) 木古内町幸連5遺跡が世界遺産登録になるための取り組みについて</p> <p>(2) 幸連5遺跡が世界遺産登録の認定を受けた場合、石製品を含む出土品の展示場等の新設の考えは</p>			